

# 30か30かしんぶん

2024年もありがとうございました。お変わりありませんか？  
今年最後の30か30かしんぶんをお届けします。

2024年

12

月号

No. 172

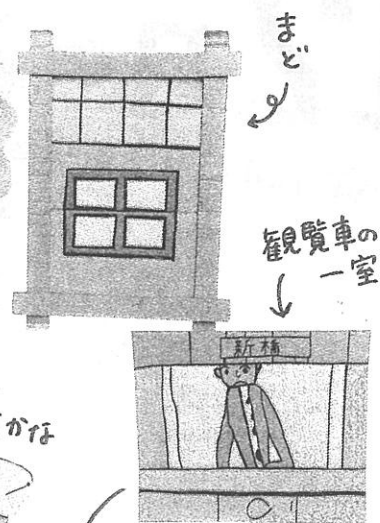


# レポート 演劇ワークショップ その4 舞台準備編

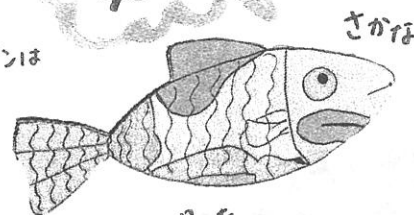


演劇ワークショップは、ぶかぶかさんと地域のみなさんで楽しいお芝居をつくる取り組みです。月に1回、6か月間のワークショップを経て、1月26日の「表現の市場」で発表します。今年の題材はぶかぶかメンバーのヨッシーが作った立体作品です。今月は舞台美術を特集します。ぶかぶかの演劇の小道具や衣装、背景画はメンバーさんやプロの方々と手作りしています。表現の市場では、舞台セットにもぜひご注目ください!!

背景画の  
パトリックを  
作りはじめて  
います。

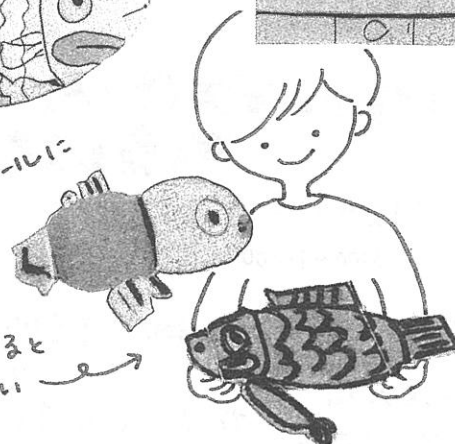


※舞台美術のデザインは  
今後変更される  
場合もあります。



ヨッシーの作品を  
拡大してダンボールに  
描いています。

人と比較すると  
このくらい

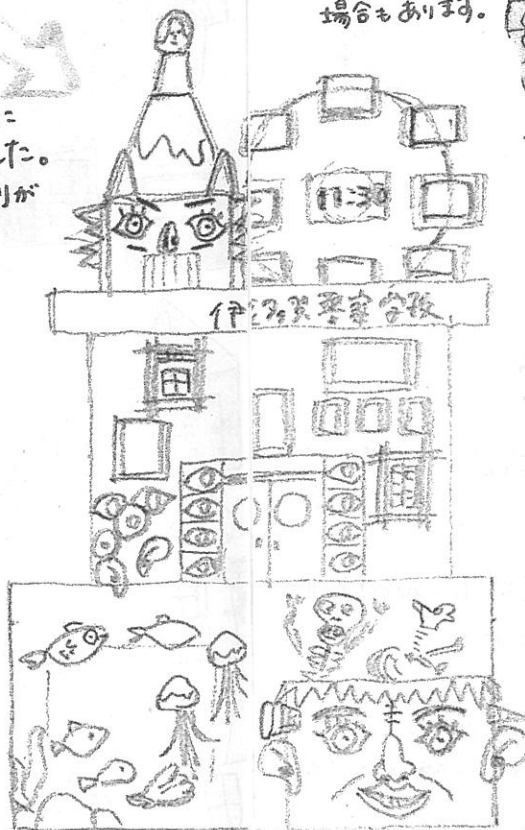
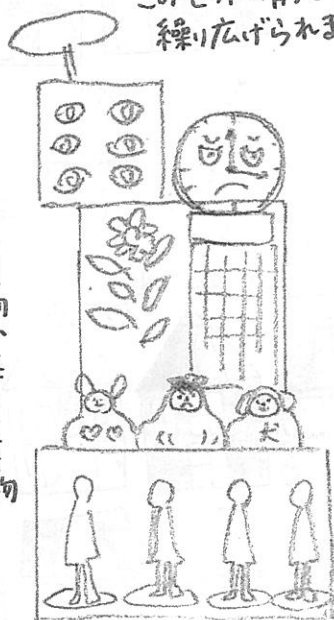


## 背景画の図面 お見せします!

ヨッシーの立体作品を舞台セットに  
展開すると、こんなイメージになりました。  
このセットの前で演劇が  
繰り広げられます。

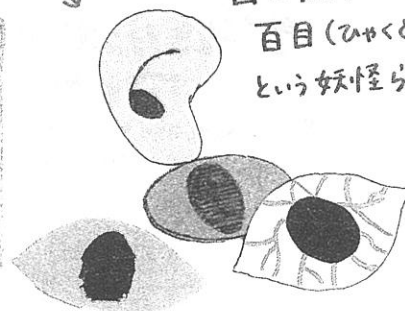


様々なモチーフが  
混在するワンダーランド!



作品のあちこちに登場する  
目や耳... 耳の木

目目連(むくれん)  
百目(ひゃくめ)  
という妖怪らしいです。



# 12月のおすすめ

☆ 12月21日は土曜営業日です！ ☆ 翌月の土曜営業は1月18日  
十日市場地区センターにて

年末年始のお休みの  
お知らせ

2024年

12/27(金)~1/6(月)

2025年

の間、お休みをいただきます。



イベントに参加  
します。

今年もクリスマスローズチキンを  
販売します!!

販売日: 12月21日(土曜営業日)

13:00~15:00 (お受け取り時間)

骨付き鶏もも肉 1本(約300g): 1,500円

(税込)

生活クラブの

「丹精國鶏」

ガーリックソルト味か照り焼き味か選べます!!

<ご予約> 045-923-0277 おひさまの台所まで。12/12(木)まで受け付けて  
おります。

アート屋  
わんど

型抜きダンボールで  
アート

日時: 12月21日(土) 10:30~12:00

場所: アート屋わんど

参加費: 200円

お申し込み: 045-923-0282

wando@pukapuka.or.jp

12月のワークショップ

いろんな形のダンボールに色を  
塗って作品をつくろう!



おかし工房にじいろ  
にじいろの  
クリスマスおやつ

りんごの  
シフォンケーキ

プレーンと  
ハニージャムの  
クリスマス  
クッキー

アールグレイ  
シトロン風パウンド

30か30かシトロン

1,500円

今年もおいしく  
できそうです♡  
(予約受付中)

300本仕込んで  
お待ちしております。

春菊の  
ジェノバーゼ

200円

旬の春菊を  
くるみと少しのにんにく  
たっぷりオリーブオイルで  
ジェノバーゼ風に仕上げました。毎年冬の人気商品です。

先日九州でぶかぶかの映画の上映会、簡単な演劇ワークショップ、討論会をやってきました。その時の参加した方の感想のひとつにこんながありました。

「ぶかぶかさん」というあたたかい響きが素敵だなあ-と思います。

ぶかぶかは団地の中にあるので、どっちを見ても同じような建物が並んでいます。なので、はじめの頃、ぶかぶかしんぶんをポストに配布するとき、時々迷子になる人がいました。あるとき、その迷子を見つけた地域の人から電話があり、その方も迷子の人をどう呼んだものか困ったようで、

『ぶかぶかで働いている人なので、「ぶかぶかさん」ていうのでしょうか、近くで迷子になっています。私見てあげますので迎えに来て下さい』

咄嗟に出たことだったと思いますが、「ぶかぶかさん」にはなんとも柔らかない響きを感じました。何よりも親しみが感じられます。

ああ、そんな風に地域の人達は感じてたんだ、と思いました。

パン屋を始めた頃、「おいしいパンいかがですか」と店頭で大声で叫んでいた方がいて、それに対し「うるさい！」と苦情の電話が入ったことがあります。この時はちょっとめげましたね。

「迷子になっています」という電話はその苦情の電話の数年後だったと思います。毎日元気に、楽しそうに働くメンバーさんの姿を地域の人達は目を細めながら見ていたのだと思います。

その優しい目線が「ぶかぶかさん」という言葉を生み出したのだと思います。

障がいのある人達を見る目が、最初の頃は「この人達大丈夫なんだろうか」「暴れたりしないだろうか」と不信感一杯だったのですが、それが数年後、「ぶかぶかさん」といつくれるようになったのです。こんな風に呼んで下さい、と頼んだわけではありません。気がつく地域の人達がそんな風に呼び始めた、という感じです。

障害者はなんとなくいや、そばに寄りたくない、という雰囲気がまだまだある中で、「ぶかぶかさん」という呼び方が定着したのは、ぶかぶかと地域社会の関係をもそのままと話しているように思います。

高崎 明

NPO法人ぶかぶか

NPO法人ぶかぶか 検索



|            |               |                    |
|------------|---------------|--------------------|
| ベーカーリーぶかぶか | 045-921-0506  | 横浜市緑区霧が丘3-25-2-203 |
| おひさまの台所    | 045-923-0277  | 霧が丘3-25-2-204      |
| アート屋わんど    | 045-923-0282  | 霧が丘3-25-2-205      |
| おかし工房にじろ   | 080-4634-2719 | 霧が丘5-26-2-201      |